

単 元		年 組 番
二年	分かりますくせつめいしよう 「おもちゃの作り方」	氏 名

自分が作ったおもちゃの作り方や楽しみ方を友だちにしようかいしてあげたいと思います。生活科や図画工作科で作ったおもちゃを思い浮かべてみましょう。分かりますいせつめいにするには、どんなことに気をつけて書けばよいでしょう。

文しように書くときのポイント

つぎの「」のことを、じゅんじょよく、まとまり」とに、ことばをくふうして書いてみましょう。

【どんなおもちゃなのか、しようかいするみじかい文（おもちゃ作りにさそう文）】

（れい） ・ ひらくと、かざりがとび出すカードの作り方をせつめいします。

【作るときにひつようなざいりようとうどうぐ】

（れい） ・ 色画用紙き色（八つ切り半分ぐらい一まい）

・ 色画用紙みどり色（色紙ぐらいの大きさ一まい）

・ のり ・ はさみ ・ ものさし ・ サインペン（黒）

【作り方】 ↑

ここは、せつめいをよんで作っていくための中心となる大せつな文しようです。作り方をじゅんじょよくまとまりごとにかけて、作る人がよみながらうまく作れるように、ことばや文を考えましょう。
絵やしんをつかい、それに合うせつめいをしたり、つかうことばを分かりやすくふうしたりして、うまく作るこつを書きましょう。

▼ 作り方のじゅんじょをあらわすことば、「まず」「つぎに」「それから」「やがて」「などをつかきましょう。

（れい） ・ まず、大きい画用紙をしんのようにはんぶんにあります。山おりのところのまん中に、切りこみを二本いれます。切りこみの長さは、四センチメートルです。

つぎに、

▼ 絵やしんをつなぎ合わせることばをつかきましょう。

（れい） ・ しんのように

▼ うまく作るコツがより分かることばを見つけて書きましょう。

（れい） ・ 「ばしよをあらわすことば」「右はし」「真ん中」

・ 「かずをあらわすことば」「一まい」「二本」

・ 「長さをあらわすことば」「四センチメートル」

・ 「大きさや太さをあらわすことば」「つくえの広さ」「ビー玉ぐらい」

・ 「ようすをあらわすことば」「ぴったり」「とれないように」「強く」

【あそび方】

（れい） ・ 左右に糸をどうじにひっぱったり、ゴムのようにのばしたり、ちぢめたりすると、ぐんぐん回ってたのしいですよ。

文しように書いたら見なおして、よりよいもの書きなおしましょう。

・ 分かりやすいじゅんじょになっているか。 ・ つかうことばは、分かりやすいか。
・ 絵やしんは、文しように合っているか。 ・ 作り方のこつが伝わってくるか。
・ ひらがな、かたかな、かん字、「」や「」を正しくつかっているか。 ・ ・ ・ など。



「はじめて作るお友だちにもよく分かるせつめいにしよう。」



「うまく作るこつがわかるびつたりのことばは何かな。」

「絵と文しうが、きちんと合っているかな。」

「たのしいあそび方もくふうして書いてありますよ。」

単 元		年 組 番	17 問
二年 分かりやすくせつめいしよう 「おもちゃの作り方」		氏 名	

1 (1) 左の「けん玉の作り方」についてのせつめいは、四つのまとまりに分かれています。それぞれ
のまとまりには、せつめいすることばがかくれています。まず、自分でかくれたことばを絵と文
しょうからかんがえて書きましょう。

(2) 本文中の絵に合う文を下の文から見つけて、せんでむすびましょう。
(3) のことばのほかに、うまく作ることが分かることばがあります。ばしよ（どこか）を表
すことばに、 せんを、ようすを分かりやすくしていることばに せんをひきましょう。
二つずつさがしましょう。

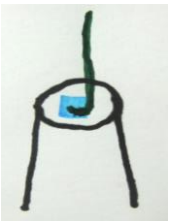
※ シートのおしまいまでやりおえてから、そのあとで、きょうかしの44ページから45ペー
ジを見てだしかめ、ことばを書きくわえましょう。

まつぼっくりをつかった、けん玉の作り方をせつめいします。

〈ざいりようとどうぐ〉

- ・ 一つ (つくえのよこの長さ)
- ・ 紙コップ つ ・ ガムテープ ・ カラーペン

〈作り方〉

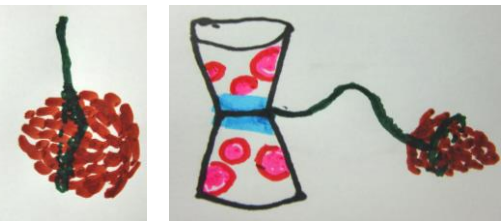


・ 、毛糸のはしを、まつぼっくりにまきつけま
す。そして、とれないように、きつくむすびます。

・ 、毛糸のはんたいがわの を、紙コップ
の につけます。ガムテープで、毛糸をとめます。

・ それから、その毛糸をはさむようにして、もう一つの
紙コップをのせます。コップのそこそこを
合わせて、ガムテープでしっかりとめます。

紙コップに、カラーペンできれいな模様をつけて、
できあがりです。



〈あそび方〉

二つの に、じゅんばんにまつぼっくりを入れて ます。
何回つづけてできるか、数えるとたのしいですよ。

